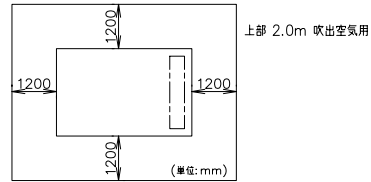
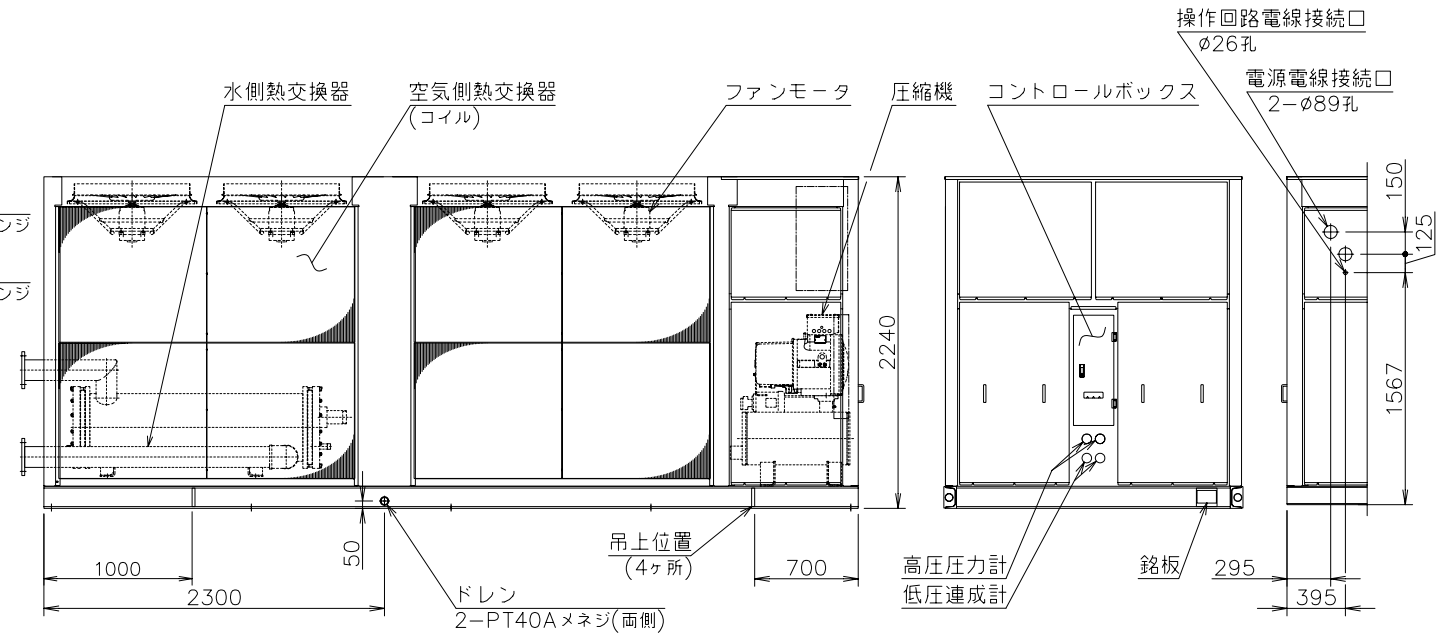
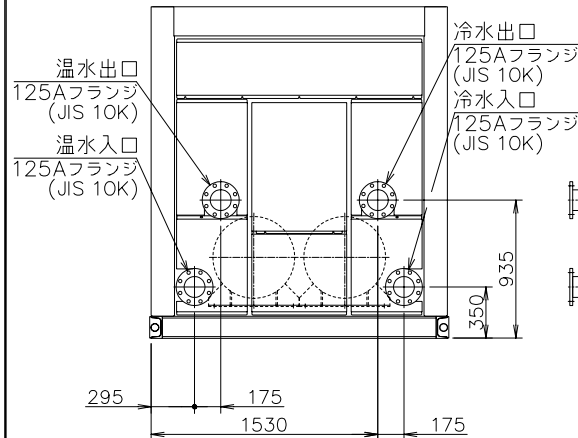
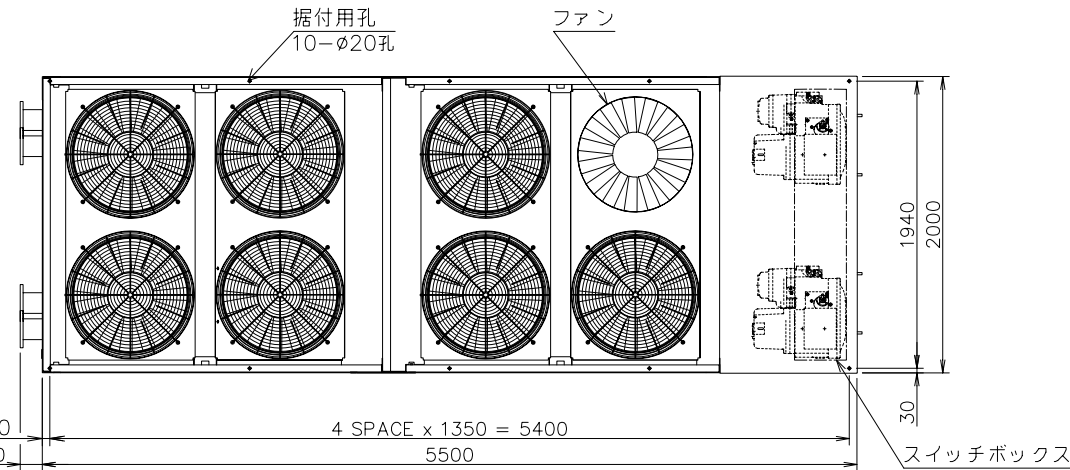


注1、ユニットの周囲には、最小下記のサービススペースを確保してください。



- 2、冬季に冷却運転を行う場合で、ユニットが冬季季節風に直接さらされる場合は、空気側コイル面に、windバップル（強風遮へい板）を別途取付ける必要があります。
- 3、積雪がある地域では、防雪フードを取付ける必要があります。防雪フードを取付けない場合は、故障停止する場合があります。
- 4、冷却水、冷温水循環ポンプは水熱交換器の入口側に取付けてください。また、ポンプ停止時にユニット（水熱交換器）内の水が排出されないように、逆止弁を設ける等の施工を行う必要があります。ユニット（水熱交換器）より水が排出されますと故障の原因となります。
- 5、水張り完了後、ポンプ単独運転を行って水系統内にエアがみえないことと、流量を確認してください。エアがみえ流量不足は水熱交換器の凍結を招く恐れがあります。
- 6、長期間停止および冬季に使用しない場合に電源を落とす場合には、50水熱交換器および水配管の凍結事故を防ぐため、必ず水配管、水熱交換器を不凍液で満たすか、水抜きを行ってください。
- 7、雨水および結露水はユニット下面へ排出されます。基礎面には防水処理を施し、排水された水が基礎面上に溜まらないようユニット周辺に排水溝、排水口等を設けてください。
- 8、チラーの水熱交換器は銅製です。水蓄熱等、水配管系統が開放型である場合で、特にライニング鋼管、ステンレス配管等の防錆鋼管により施工される場合は、水中の溶存酸素の影響により、水熱交換器の腐食が進行し、運転に支障をきたすことがありますので、設備側での脱気処理、又は水熱交換器の防錆対応（特殊仕様対応）等、考慮する必要があります。



適用機種	作成	照査	承認	JOB番号	品名	尺	1
RUA-SFA30004HW-A/B				納入先	冷温水同時取出スクルーチラー 外形図	度	**
RUA-SFA30004HWV-A/B				客先	左記		
	日付				図面番号	頁	改版
					T30SFA102-5	1 / 1	D

東芝キャリア株式会社